

## 特集

1. 認定看護師委員会委員長より新年のご挨拶 本村勅子
2. 今年度、認定資格を更新した2名からひとこと 黒崎明子、伊藤尋美
3. 認定看護師から活動報告 工藤紘子、大宮剛



### 新年のご挨拶 認定看護師委員会委員長 本村勅子

あけましておめでとうございます。認定看護師はそのレベル保持のために、5年毎の更新制度になっています。今年度は2名が更新しました。今年はさらに増える予定である認定看護師間の連携を密にして、今まで以上にベッドサイドケアの質向上を図りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



### 生涯教育講座「在宅療養へ向けた早期からの看護支援」

- 1回目 10月1日(火) 17時45分～19時 シンポジウム  
「事例で学ぶ早期からの在宅療養支援」大宮、岩崎、吉田、野中  
2回目 11月6日(水) 17時45分～19時 講義  
「今、病院に求められる在宅療養支援  
～生活の質を高めるための病院看護師の役割～」  
旭川医科大学看護学科 在宅看護学講座 照井レナ先生

### がん化学療法看護認定資格の更新 10年目

黒崎明子

5年を振り返ると、実践や学習時間は激減しました。その中でも、北海道がん化学療法看護研究会への参加が他施設の状況や最新情報を得る機会となったのが救いだったと思います。今回は認定証とともに実践報告書に関する審査委員からの課題をコメントしていただきました。その課題を受け止め、今後の活動に活かしていきたいと思えます。

### 救急看護認定資格の更新 5年目

伊藤尋美

5年たって思うことは、ようやく院内で認識されるようになってきたのかな、ということです。5年たってようやく…救急はどの部署でも共通してニーズのある分野だと思います(もちろん実際に出会わないに越したことはありませんが…)。これからみなさんに活用してもらえ認定看護師として活動を続けていきたいと思えます。

### 北海道メディカルミュージアムの開催 11月21日

「誤嚥のメカニズムと誤嚥予防について」

摂食・嚥下障害看護認定看護師 工藤紘子

メディカルミュージアムは、旭川医科大学が地域貢献事業として、これまで遠隔医療センターと旭川市役所や道北の町役場、道立病院など9カ所をインターネットでつなぎ配信してきました。今回は9カ所以外に、一般市民にも受講できるように、初めて市中心部フィールド旭川内の国際交流センターをインターネットで結び、双方向でやりとりができる医学講座として開催されました。インターネット上でやりとりができるのはとても新鮮で、今までの講演形式とは違い、モニターでの反応を見ながら説明するという貴重な体験ができました。フィールド旭川には70名の参加者と立ち見の方もいらしたようです。嚥下障害への関心が高く、今後も継続して情報発信をしていきたいと考えています。

### 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 大宮剛

今回、在宅療養支援における知識を習得し、病院看護師の役割を理解することを目標として講演会を2回開催しました。初回、岩崎真美さんは外来化学療法患者さんの在宅療養支援、吉田美幸さんは乳がん患者さんの外来と病棟とつなぐ看護、野中雅人さんは化学放射線療法を受けた頭頸部がん患者さんの支援、そして私は脳卒中患者さんの意思決定支援の重要性について話しました。参加は院内90名、学外5名の95名でした。2回目は本学在宅看護学教授 照井レナ氏に講演をしていただきました。参加は院内98名、学外9名の107名でした。終了後のアンケートでは「自宅退院や外来通院に向けて、入院中に必要なケアや情報を学ぶことができた」「在宅に必要な支援の要点を学べた」などの回答が得られ、目標を達成することができたと考えています。今後も患者さんが病気や障害を抱えながらもその人らしく生きていくためには何が必要かを考え、より良いケアを実践するように努めます。



### 認定看護師委員会からのお知らせ

・昨年末、認定看護師一覧をリニューアルしました。ベッドサイドで一緒にケアを実践し、看護ケアの充実に貢献したいと考え、実践・指導・相談の3つの内容を記載しています。ぜひご活用ください。

駆けつけます!

